

2023

3

MARCH

Vol.89

Produce by  
Osaka Circular Resource Association

# Clean Life

クリーン  
ライフ

ヒラオカ石油株式会社



## TOPICS

- ① 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行等について
- ② 石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行について
- ③ 廃エアゾール製品等の排出時等の事故防止のための周知徹底について
- ④ 専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて



公益社団法人 | 大阪府産業資源循環協会

2023年度

# 廃棄物 管理士 講習会

## 環境省認定 講習会



本講習会は環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されています。

### 受講対象

産業廃棄物の処理を委託又は受託し、適正に管理していくために必要な法的知識を習得したいと考えている方等

### 開催期日

開催期日		受講日数	定員
2023年	7月21日(金)	1日	50名
	8月23日(水)	1日	50名
	9月15日(金)	1日	50名
	11月14日(火)	1日	50名
2024年	1月26日(金)	1日	50名
	3月13日(水)	1日	50名

### 受講料

15,400円(資料代/消費税込み)

### 開催場所

#### 国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008  
大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館大阪城ビル12階  
TEL 06-6941-2433



○地下鉄天満橋駅3番出口から徒歩3分  
○京阪電車天満橋駅東出口から徒歩6分

詳細案内および実施要領の配布開始の時期については、  
5月上旬を予定しています。

詳しくは本会ホームページをご覧ください。

URL/ <http://www.o-sanpai.or.jp/>

実施機関

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-1-22(大江ビル3階)

後援

大阪府

TEL 06-6943-4016

FAX 06-6942-5314

## C O N T E N T S

## トピックス●

4

- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行等について  
(令和4年5月17日環境適発第2205171号・環境規発第2205171号)
- 石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行について(令和5年1月12日基発0112第2号)
- 廃エアゾール製品等の排出時等の事故防止のための周知徹底について(令和5年1月19日事務連絡)
- 専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて  
(令和5年2月3日環境適発第2302031号・環境規発第2302031号)
- 道路交通法「自動車の積載の制限及び大型・中型免許取得の受験資格」が変わります  
(令和4年5月13日施行) 公益社団法人全日本トラック協会
- 車検証電子化による券面記載事項の変更・記録等事務の委託手続等を定めた道路運送車両法施行規則等の改正について(令和5年1月1日施行) 国土交通省
- 府が排出する産業廃棄物の処理委託及び府が発注する工事に係る電子マニフェストの使用義務化について  
(令和5年4月1日施行) 大阪府

## 事業報告●

6

- 協会の活動
- 協会の会議
- 他団体会議等への出席
- クローズアップ1** 令和4年度各種表彰受賞者のご紹介
- クローズアップ2** 羽曳野市、柏原市と災害廃棄物の処理等に関する協定を締結
- クローズアップ3** 一般社団法人OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション(OZCaF) に入会
- クローズアップ4** 令和5年1月に「女性部」を発足

## メールマガジン「Clean Life オンライン」●

14

## 廃棄物処理先進事例調査●

16

- 第36回 (株)中特ホールディングス
- 第37回 新明和工業(株) 宝塚分工場

## 今後のスケジュール●

25

## 会 員 紹 介● ヒラオカ石油株式会社

30

## 書 籍 紹 介● 不動産取引・M&amp;Aをめぐる 環境汚染・廃棄物リスクと法務

34

## バックナンバーのご案内●

35

- Clean Life
- よくわかるシリーズ
- 廃棄物法制等普及促進シリーズ

## 編 集 後 記●

37

表紙写真：ヒラオカ石油株式会社  
〒596-0015 大阪府岸和田市地藏浜町11-1

## TOPICS

1

**地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行等について  
(令和4年5月17日環循適発第2205171号・環循規発第2205171号)**

概要

同法に基づく認定地域脱炭素化促進事業者が、認定地域脱炭素化促進事業計画にしたがって熱回収を行う場合には、廃棄物処理法に定める「熱回収施設設置者認定制度」に基づく認定を受けているものと見なすことやそのための施設整備及びこれと一体的に行う取組みについて、廃棄物処理法に基づく土地の形質の変更に係る手続きを不要とすることが示されています。



2

**石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行について  
(令和5年1月12日基発0112第2号)**

概要

「工作物の解体等の作業を行う際の事前調査」（石綿等の使用の有無に係る調査）について、これを行う者の要件等を改正し、令和8年1月1日から施行することが示されています。



3

**廃エアゾール製品等の排出時等の事故防止のための周知徹底について  
(令和4年7月26日事務連絡)**

概要

令和5年1月16日、東京都港区において、エアゾール製品の内容物が屋内で噴射され、これに引火したことが原因と思われる爆発火災事故が発生したことを受け、エアゾール製品及びカセットボンベの取扱いについて、「①充填物の使い切り・適切な出し切り方法の周知」、「②穴を開けずに充填物を出し切ってから排出させ処理する体制の整備」、「③廃棄物処理事業における爆発防止事故対策」の徹底を求めるものです。



## TOPICS

4

**専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いについて  
(令和5年2月3日環循適発第2302031号・環循規発第2302031号)**

概要

「専ら再生利用の目的となる廃棄物」(専ら物)の引取り時に、廃棄物処理業の許可やマニフェストの交付受けを要しないものとされるのは、専ら物以外の廃棄物の処理を主たる業として行っている者も同様である(専ら物の専門者に限らない)ことや再生利用されない専ら物は廃棄物処理業の許可やマニフェストの交付受けを要することが示されています。



5

**道路交通法「自動車の積載の制限及び大型・中型免許取得の受験資格」が変わります  
(令和4年5月13日施行) 公益社団法人全日本トラック協会**

概要

道路交通法施行令の改正により、自動車の積載の制限を緩和することや大型・中型免許の受験資格について「特別な教習」を修了していることを要件に普通免許等を1年以上保有する19歳以上とすることが示されています。



6

**車検証電子化による券面記載事項の変更・記録等事務の委託手続等を定めた道路運送車両法施行規則等の改正について  
(令和5年1月1日施行) 国土交通省**

概要

車検証(自動車車検証)を電子化することや「記録等事務委託制度」(継続検査等における運輸支局等への来訪が不要となりオンラインで申請できる制度)を導入することが示されています(軽自動車は令和6年1月から)。



7

**府が排出する産業廃棄物の処理委託及び府が発注する工事に係る電子マニフェストの使用義務化について  
(令和5年4月1日施行) 大阪府**

概要

大阪市に続き、それと同様に、電子マニフェストの使用を義務化することが示されています。





## 事業報告

## 協会の活動

**BCP策定啓発セミナー** ————— 11月16日(水) 13時00分／大江ビル13階 第2・3会議室

- 大阪府作成の「超簡易版BCP『これだけは!』シート」を使い参加者がBCP作成を体験。併せて本会作成の「産業廃棄物処理業者に関するBCP策定ガイドライン第2版」に基づき詳細なBCP策定を説明。また、大幸工業㈱が災害発生時の防災拠点として建設した「津波避難ビル兼車輛センター」(大阪市が津波避難ビルに指定)について事例を発表。

**廃棄物不適正処理巡視事業** ————— 11月17日(木) 北河内地域

- 枚方市、大東市、四条畷市、交野市で不法投棄等の不適正処理巡視を実施。

**OSK-sign(電子契約エントランスシステム)導入説明会**

————— 12月5日(月) 14時00分、2月27日(月) 14時00分／オンライン

- 産業廃棄物処理業者のための契約書の電子化サービス「OSK-sign(電子契約エントランスシステム)」の導入を検討されている方を対象とした導入説明会を実施。

**施設見学会** ————— 12月7日(水)～8日(木) 広島県

- 日本で有数の処理能力を誇るツネイシカムテックス株式会社(福山工場)と、「美しすぎるゴミ焼却場」として話題の広島市環境局中工場を見学。

**大規模災害発生時における情報伝達訓練** ————— 12月15日(木) 10時00分

- 産業廃棄物処理事業者への災害時の情報伝達及び仮置場の設営、運営管理に関する手順等を確認するための情報伝達訓練を自治体と連携して実施。

**廃棄物管理士スキル向上セミナー**

————— 12月20日(火) 13時30分／大阪産業創造館5階 研修室A・B

- 廃棄物管理士資格取得者を対象に講習会で習得した知識を定着させることを目的にセミナーを実施。本会専務理事兼事務局長の龍野浩一が講師となって「廃棄物処理法の基礎の整理」の講義を行った。

**大阪市総合震災訓練** ————— 1月17日(火) 9時00分

- 地震発生直後の迅速な災害応急対策体制の確保と危機管理機能保持のため、初期初動体制の実効性について検証し、災害対応能力の向上に取り組むことを目的に大阪市が防災訓練を実施。本会は地震発生直後の被害状況やその対応に関する情報共有など、大阪市との相互連携体制の確認のための演習訓練に参加。

**インボイス制度に関する説明会** ————— 1月30日(月) 9時30分／オンライン

- 公認会計士・税理士の鈴木一正氏、弁護士の山田浩介氏を講師に迎え、令和5年10月1日からスタートするインボイス制度の概要、制度移行に伴う独占禁止法・下請法上の留意点に関する説明会をオンラインで開催。

**リスクアセスメント推進研修会** — 2月2日(木) 14時00分／大江ビル13階 第2・3会議室

- 労働災害防止対策としてのリスクアセスメント及び安全衛生規程の重要性について説明。併せて労働安全衛生法の最近の改正事項や厚生労働省、労働基準監督署の動向及び対応策等についての情報を提供。

## 廃棄物処理先進事例調査

- ・第36回 (株)中特ホールディングス ————— 2月7日(火)  
より良い人材の確保、働き続けられる労働環境の整備に取り組まれている状況について説明を受けた。詳細は16ページに掲載。
- ・第37回 新明和工業(株)宝塚分工場 ————— 2月8日(水)  
テレスコ式リヤダンプトラック等について説明を受け実地運転の様態を見学。詳細は21ページに掲載。

## さんばいフォーラム ————— 2月17日(金) 13時00分／エルおおさか エルシアター

産業廃棄物処理業が地域社会のインフラとして持続的に機能していくため、企業として雇用の多様化や魅力ある職場づくり、デジタルを通じた業務の省力化とDXに取り組んでいく必要とその展望について基調講演と事例発表を実施。詳細は次号に掲載。

- ・基調講演「GXを加速する資源循環DX」  
講師 資源循環ステムズ(株)代表取締役、高度資源循環・デジタル化推進協議会事務局  
瀧屋 直樹 氏
- ・事例発表①「多様な人材の確保について」  
講師 (株)タイヨー 代表取締役 元山 琢然 氏
- ・事例発表②「企業内大学を通じた社員育成プロジェクトについて」  
講師 街クリーン(株) 営業部長 水越 睦起 氏

## 協会の会議

### 理事会 ————— 1月25日(水) 16時00分／大江ビル13階 第6会議室

- 女性部新設の件
- 柏原市災害廃棄物の処理等に関する協定締結の件
- 令和5年度調査研究事業助成制度取扱要領並びに環境問題の啓発及び環境教育のための事業助成取扱要領の件
- 一般社団法人廃棄物資源循環学会による第34回研究発表会協賛の件
- 一般社団法人OSAKAゼロカーボンファウンデーション入会の件
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会の地方功労者、地方優良事業所、優良従事者表彰推薦の件
- 入会申込みの件
- さんばいフォーラム集客強化のための協力について
- 令和5年度第3次労働災害防止計画の上程について

### 組織広報委員会 ————— 1月16日(月) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 令和5年1月度入会審査
- CleanLifevol.89発行について
- なにわサンパイ塾開催について
- 令和4年度精励従事者表彰の決定について
- 令和4年度近畿建設リサイクル表彰の結果について

### 危機管理委員会 ————— 11月7日(月) 15時00分／大江ビル13階 第2会議室

- 先進事例調査について
- リスクアセスメント推進研修会について
- 「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画(案)」及び「安全衛生活動の現状調査」について

12月21日(水) 15時00分／大江ビル13階 第2会議室

- 安全衛生活動の現状調査の調査結果について
- 次期労働災害防止計画の策定について
- リスクアセスメント推進研修会の開催について
- 先進事例調査事業について

2月28日(火) 15時00分／大江ビル13階 第5会議室

- 公益社団法人大阪府産業資源循環協会における令和5年度から令和7年度までの労働災害防止計画について
- 令和5年度労働暗線衛生表彰に係る表彰候補者の募集について
- リスクアセスメント推進研修会の開催結果について
- 先進事例調査事業開催結果について

**法政策調査委員会** 1月26日(木) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 産業廃棄物に関する判例について
- 関係法令の運用状況について
- インボイス制度説明会について

**収集運搬部会** 11月22日(木) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 廃棄物不適正処理巡視報告
- 廃棄物処理先進事例調査について
- 廃棄物収集作業向上研修会について
- 今年5月施行の改正道路交通法施行令に関する情報提供

1月18日(水) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 廃棄物収集作業向上研修会について
- 廃棄物処理先進事例調査について
- 次年度に向けた準備について
- 電子化された自動車検査証への対応に関する情報提供

2月15日(水) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 廃棄物収集作業向上研修会について
- 廃棄物処理先進事例調査について(新明和工業株式会社)
- 次年度に向けた準備について

**建設特別部会** 12月12日(月) 15時00分／大江ビル13階 第2会議室

- 今後の建設特別部会の進め方について

**青年部** 11月18日(金) 16時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 当年度施設見学会について
- 当年度さんぱいフォーラムについて

12月14日(水) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 当年度さんぱいフォーラムについて
- 当年度施設見学会について
- 当年度先進事例調査について

1月19日(木) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 当年度さんぱいフォーラムについて
- 当年度先進事例調査について

2月9日(木) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 当年度さんぱいフォーラムについて
- 当年度先進事例調査について
- 次年度の事業計画について



## 他団体会議等への出席

### 高度資源循環・デジタル化推進協議会 カーボンニュートラルWG

11月10日(木) 13時00分／オンライン

- デジタル技術を活用した(株)富山環境整備の取組紹介
- 廃棄物エネルギーの価値向上（バイオマスのトレーサビリティ）

### 高度資源循環・デジタル化推進協議会 循環経済WG — 11月10日(木) 15時30分／オンライン

- 廃棄太陽光パネルのリサイクルについて
- プラスチック新法対応に係る検討
- 再生材・バイオ素材の利活用及び循環の促進

### (一社)大阪府解体工事業協会との意見交換会

11月11日(金) 15時00分／大江ビル13階 第3会議室

- 資源循環の推進に向けた取組みについて
- 雇用の確保や定着に向けた取組みについて
- 脱炭素に向けた取組みについて
- 業務の電子化について
- 災害発生時の対応について
- 今後の連携について

### 大阪府「みんなで防止!! 石綿飛散」推進会議

12月6日(火) 14時00分／大阪府咲洲庁舎 咲州ホール

- 「みんなで防止!!石綿飛散」推進会議について
- 行政機関における石綿対策等の取組み等について
- 石綿飛散防止に係る周知の取組みについて

### (公社)全国産業資源循環連合会全国正会員事務局責任者会議

2月3日(金) 13時30分／オンライン

- 令和5年度(2023年度)事業計画素案について
- 令和5年度安全衛生事業方針(案)について
- 2023年度許可等講習会の業務委託について

### 大阪府フロン機器適正管理の推進のための情報交換会

2月8日(水) 12時20分／意見提出

- 大阪府域におけるフロン排出抑制法への対応状況について
- フロン排出抑制法改正について
- 代替フロンによる気候変動への影響の低減に向けて

### (公社)全国産業資源循環連合会近畿地域協議会

2月20日(月) スイスホテル南海大阪／芙蓉の間

- 環境省の災害廃棄物対策について
- 令和5年度功労者表彰及び優良事業所表彰の推薦について
- 公益社団法人全国産業資源循環連合会の活動について
- 次回開催について

### 大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会

3月3日(金) 13時30分／AP大阪茶屋町 Aルーム

- 令和4年度に実施した調査・事業等の報告
- 令和4年度大規模災害に備えた廃棄物処理体制検討事業(モデル事業)等の概要
- 近畿地方環境事務所の来年度の取組予定

# クローズアップ!

1

## 令和4年度各種表彰受賞者のご紹介

本会役員、会員企業従業員の方々が以下の賞を受賞されました。ご受賞の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

### 環境衛生功労者の大阪府知事表彰

多年にわたり環境衛生事業に尽力され、その功績が特に顕著であると認められる者、生活環境の改善に特に顕著な成果をあげている個人・団体を対象に大阪府知事が表彰。

受賞者

大林 正（再生処分副部長）



左から片淵昭人会長、大林正再生処分副部長、龍野浩一専務理事兼事務局長

### 精励従事者表彰

本会では会員企業を対象に、産業廃棄物処理業に従事する方を表彰する「精励従事者表彰制度」を設けております。会員企業の推薦を受けた方を本会組織広報委員会において厳正に審査致しました結果、以下の方々の受賞が決定いたしました。

精励従事者表彰の対象（本会表彰規程より）

産業廃棄物処理業における現業、営業又は事務等に10年以上従事した満35歳以上の者のうち、本会が認定する廃棄物管理士の資格を付与されたもの

株式会社エンタープライズ山要  
株式会社エンタープライズ山要  
株式会社ケーシーエス  
株式会社興徳クリーナー  
株式会社興徳クリーナー  
大栄環境株式会社  
大栄環境株式会社  
株式会社関電パワーテック  
株式会社関電パワーテック  
株式会社関電パワーテック

富 永 慎 司 氏  
中 島 誠 氏  
眞 田 孝 博 氏  
大 水 和 弘 氏  
河 野 ひとみ 氏  
小 栗 章 義 氏  
栗 山 典 正 氏  
荒 川 信 隆 氏  
鈴 木 朝 大 氏  
宮 井 哲 史 氏

# クローズアップ!

2

## 羽曳野市、柏原市と災害廃棄物処理等に関する協定を締結

本会は令和4年11月21日に羽曳野市、令和5年2月3日に柏原市と大規模自然災害等に備えた協定を結びました。大量に発生する災害廃棄物を本会の会員企業の協力を得て、適正かつ円滑、迅速に処理することを目的としています。



羽曳野市との協定締結式（㊦片瀧昭人会長 ㊦山入端創羽曳野市長）



柏原市との協定締結式（㊦富宅正浩柏原市長 ㊦片瀧昭人会長）

# クローズアップ!

3

## 一般社団法人OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ ファウンデーション（OZCaF）に入会

「持続可能な開発目標（SDGs）」に関する一層野心的で先進的な取組みを大阪から具体化し、これを全国へと波及させることによって、我が国が目指す2050年の脱炭素社会実現における先導的な役割を果たしていくことを目的として2020年に発足したOZCaFに入会しました。

今後、産業廃棄物処理業界においても、脱炭素に向けた取組みを求められることは必至です。そして、そのためには、まず現状を把握するための「脱炭素の見える化」に着手することが有効です。

OZCaFが運営するシステム「環進帳」では、各社の会計データから、特段の知識や手間をかけることなく、中小企業でも簡単に、無料でCO2排出量を計測することができます。



協会としては、こうした趣旨と活動に大きく賛同しており、OZCaFを、資源循環分野における脱炭素を推進していくためのプラットフォームと位置付け、これに参画するものです。

OZCaFウェブサイト : <https://ozcaf.jp>





# クローズアップ!

4

## 令和5年1月に「女性部」を発足

「男女雇用機会均等法」、SDGs「ジェンダー平等」など女性活躍に於いて、産業廃棄物処理業界では「女性活躍・連携」についての調査・研修事業を強化するべく、本会では令和5年1月25日に「女性部」を発足いたしました。

女性の活躍と連携をテーマに個々のスキルアップや会社を超えて繋がりを増やす機会を提供いたしますので、今後の活動に注目してください



3月10日に女性部発足の趣旨説明と職場での困り事などをテーマに参加者を女性限定にした「なにわサンパイ塾」の様子。(写真奥右が樋口かこの女性部長)

## メールマガジン「Clean Life オンライン」 好評配信中！

会員を対象にメールマガジン「Clean Life オンライン」を配信中です。すでに多数の会員の方にご登録いただいておりますが、まだまだ受付中です。配信ご希望の会員の方は本会ウェブサイトでプライバシーポリシーをご確認のうえ、同意された場合には下記要領に従い、配信先メールアドレスのご登録（無料）をお願い申し上げます。

公益社団法人大阪府産業資源循環協会のプライバシーポリシーの開示

<http://www.o-sanpai.or.jp/privacy>

なお、メールマガジン配信にご登録をされますと、ファックスによる情報提供は停止されます。予めご了承ください。

### 【メールマガジン配信先のご登録要領】

1. 次の事項をご記入の上、**office@o-sanpai.or.jp**に送信してください。
  - ①会員の名称
  - ②ご担当者所属・役職・氏名
  - ③電話番号
  - ④配信先メールアドレス（1会員につき1メールアドレスのみの登録となります）
2. 送信時の件名は「メールマガジン配信希望（会員の名称）」としてください。

## Clean Life オンラインのバックナンバー

### 令和4年度

11月9日

Vol.599 ■（大阪府からのお知らせ）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応について

11月14日

Vol.600 ■安全衛生活動の現状調査のお願い

11月15日

Vol.601 ■書籍のご案内（インボイス関連書籍）

11月24日

Vol.602 ■（低炭素関係）

脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業（追加募集）

12月13日

Vol.603 ■【情報提供】

建設発土の適切な管理に関する講習会について

12月19日

Vol.604 ■「インボイス制度」に関する説明会について（開催案内）

12月20日

Vol.605 ■（環境省主催）

令和4年度 建築物等の解体等工事における石綿の飛散防止対策研修会について

Vol.606 ■（国土交通省）

建設関連企業の有する低炭素化技術に関する調査について

1月5日

Vol.607 ■【大阪労働局】

令和5年「冬季死亡災害防止強化期間」について

1月6日

Vol.608 ■【情報提供】

インボイス制度の支援措置等について

Vol.609 ■令和4年度 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会の開催について（ご案内）

Vol.610 ■＜大阪府からのお知らせ＞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組みについて

Vol.611 ■【情報提供】（リース会社向け）

プラスチック資源循環促進法の改正等によるガイドランスの作成について



1月13日

Vol.612 ■ 【2月17日（金）開催】

さんばいフォーラム ―持続可能な資源循環の  
ための人材確保とDX―

1月16日

Vol.613 ■ （大阪府）

自動車検査証の電子化に伴う提出書類の変更につ  
いて

1月19日

Vol.614 ■ OSK-sign（電子契約エントランスシステム）

導入説明会開催のご案内

1月23日

Vol.615 ■ 令和4年度 廃棄物収集作業向上研修会開催の  
ご案内

1月24日

Vol.616 ■ （厚生労働省）

石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行  
について

1月25日

Vol.617 ■ 令和4年度 第2回なにわサンパイ塾のご案内

1月31日

Vol.618 ■ （低炭素関係）

地域における太陽光発電の新たな設置場所（廃  
棄物処分場等）活用事業（3次公募開始）

1月31日

Vol.619 ■ 令和4年度 廃棄物管理士講習会

追加開催のご案内

2月3日

Vol.620 ■ <大阪府からのお知らせ>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向  
けた取組みについて

2月3日

Vol.621 ■ 【開催迫る！】

さんばいフォーラム ―持続可能な資源循環の  
ための人材確保とDX―

2月13日

Vol.622 ■ 産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書

【2022年10－12月期】の送付について

Vol.623 ■ （環境省）

専ら再生利用の目的となる廃棄物の取扱いにつ  
いて

2月28日

Vol.624 ■ <大阪府からのお知らせ>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向  
けた取組みについて

## 廃棄物処理先進事例調査

### はじめに

産業廃棄物処理業が地域社会のインフラとして持続的に機能していくため、企業として、雇用の多様化や魅力ある職場づくり、さらにはデジタルを通じた業務の省力化と効率化に取り組んでいく必要がある。

危機管理委員会では、長時間労働の縮減や仕事と生活の両立支援に積極的に取り組み、若者、女性、高齢者、障害者など多様な人材が活躍できる職場環境づくりに成果を上げている企業として、山口県のやまぐち働き方改革推進会議により「やまぐち働き方改革推進優良企業」として表彰を受けられた株式会社中特ホールディングスを訪問し、その先進的な取組状況についてお話を伺った。

実施日：令和5年2月7日（火）



## 第36回 株式会社中特ホールディングス

### ■ 概 要

商 号：株式会社中特ホールディングス  
 創 立：2012年4月  
 代 表 者：代表取締役社長 橋 本 福 美  
 本 社：山口県周南市久米3034-1  
 資 本 金：3,000万円  
 従 業 員：22名（グループ全体 117名 男性80名、女性37名）  
 事 業：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務  
 ダチョウ飼育による食品リサイクル業務  
 U R L：<https://www.chutoku-g.co.jp/>



## ■ 中特グループ

### 中国特殊株式会社

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、下水道維持管理業、建設業、解体業、浄化槽保守点検業

### 株式会社吉本興業

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業

### 株式会社リライフ

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、リサイクル事業

### 株式会社藤井興業

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、貯水槽清掃業、浄化槽保守点検業

### 株式会社ポータルハートサービス

各種片付け事業、遺品整理事業、生活関連のお困りごとの解決

## ■ 沿 革

中特グループは1966年に旧徳山市において、一般廃棄物の収集運搬業者として事業を開始、その後、1968年に下水道の維持管理業、1973年に産業廃棄物の収集運搬業、1975年に産業廃棄物中間処理業、1980年に建設業登録と事業を拡大してきた。それぞれの事業を担当する会社が存在する中、経理等の内部部門を統一化し、グループとしての効率化を図るために2012年にホールディング制に移行した。ホールディングスは経理だけでなく、各社の営業や広報、マーケティングに関する業務も行い、各社はそれぞれのサービスに特化する形になっている。各社の間での人事異動も行われており、就業規則や給与体系は統一されている。

## ■ 人材育成プログラム

### ①中特アカデミー（社内勉強会）

社員の自己成長を図り、自ら考え行動する自立型姿勢を基本に、顧客から頼りにされる人、中特グループ目標を達成実現できる人、本気のプロフェッショナルを目指し2015年より実施している。廃棄物処理法の研修等は必須科目となっており、それ以外は社員の希望に応じてさまざまな研修メニューが用意されている。

### ②J B（事故撲滅）研修

現業部門において、文字通り事故を撲滅するために何をすべきか検討するための研修。過去の事故事例の検証やタイヤ交換研修なども行っている。

### ③I S O審査・勉強会

ISO14001（環境）及びISO45001（労働安全衛生）を取得済み、さらにISO90001（品質）取得に向けてミーティングを実施している。

## ■ 労働環境の整備

### ①I Tの活用

I Tを単なる事務業務の効率化ではなく、あらゆる分野の業務改革のために活用している。顧客に向けては、zoomでの商談や電子契約や請求書の受取・発行を電子化を進め、社内向けにはLINE WORKSを日々の業務連絡や台風や地震発生時の緊急連絡に使っている。中特ホールディングス本社事務所はフリーアドレスとなっており、在宅勤務など多様な働き方を実現している。

## ②女性活躍の推進

中特グループの女性社員をメンバーに「ANG（アネゴ）ネットワーク」を立ち上げた。「ANG（アネゴ）ブログ」を定期的に更新し、中特グループの女性活躍を発信している。さらに、食品ロスと子どもの貧困を解決できる取り組みとして、NPO法人フードバンク山口への事業協力をスタートさせ、グループ全体の取り組みとして「しゅうなんステーション」の運営を行うに至っている。

## ③子育て世代が働きやすい環境

「短時間正社員制度」を導入し、短時間勤務であっても、正社員として雇用され、子育て世代が働きやすい環境を整備した。また、男性社員が育児休業を取得できる風土をグループ全体で醸成することに努めている。

## ■ 社会貢献活動

### ①環境出前授業

周南市内小学校での環境出前授業を実施している。

### ②いきいきサロンへの訪問

周南地域のコミュニティのいきいきサロンを訪問し、高齢者からのごみの相談などに対応している。

### ③「体験の機会の場」の認定

環境省が推進する「体験の機会の場」として山口県知事より認定を受けている。

山口県知事認定第001号 ダチョウの給餌※を通して食品ロスを考える。

山口県知事第002号 海岸漂着物でクラフトアート

### ※ダチョウによる食品リサイクル

ダチョウは寿命が50～60年と長く、雑食性で1日に約10kgの餌を食べる鳥である。スーパー等に出る野菜くずも餌にしている。本来であれば焼却処理されていた野菜くずをダチョウがそのまま食べることでCO<sub>2</sub>も排出しない。

さらにダチョウの卵はニワトリの25倍もある大きさで、その卵を利用し、花粉やハウスダストの抗体が配合された黒糖のど飴をダチョウの権威である塚本博士と共同で開発し、販売を行っている。



ダチョウの飼育施設



## ■ さらなる進化をめざして

### ①「Reの森」プロジェクト

2021年12月に中特ホールディングス新社屋完成を機に、敷地内の植栽について広くたくさんの方に関わってほしいということで、“未来につながる「Reの森」プロジェクト”を開始、現在11種類270本の木が植樹されている。

### ②Chutoku Upcycle Art Contest

“廃棄物について考えるきっかけを与える”というコンセプトの廃棄物アートコンテストが2021年より始まり、1回目は123点、2回目は128点の応募があった。応募者の7割が現役クリエイター、これまで廃棄物とは無縁だった人からの応募が多く、アートが持つ力によって廃棄物や環境問題の未来について考えるきっかけを与える事業となっている。

### ③「ROBBO」運営事業

英語でプログラミングを学べるスクール「ROBBO」を4月からスタートさせた。フィンランドのヘルシンキ大学にてシステム化された教育メソッド「ROBBO」を採用し、グローバル社会やデジタル社会に対応できる次世代の子どもたちを育むプロジェクトである。



橋本社長によるご説明



「Reの森」



Chutoku Upcycle Art Contest 2022



2021年に完成した新社屋

## ■ まとめ

われわれ産業廃棄物処理業界にとって、より良い人材の確保、働き続けられる労働環境の整備は喫緊の課題であり、今回見聞できたさまざまな取り組みは大変参考になりました。

特に「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」という中特ホールディングス様の理念には非常に感銘を受け、上層部だけでなく、社員ひとりひとりがその理念を理解し、それに向かって楽しく生き活きと業務に励まれている様子は、これまでの廃棄物処理業のマイナスイメージを払拭し、廃棄物業界の目指す新たな方向性であると感じました。

最後に、危機管理委員会の先進事例調査事業の訪問にあたり、業務多忙にもかかわらず長時間にわたり懇切丁寧にご対応、ご説明くださった代表取締役の橋本ふくみ様、企画広報室室長の吉本妙子様、企画広報室主席の上原康宏様、株式会社リライフリサイクル事業部取締役事業部長の江村範久様に改めて心からお礼申し上げます。

(文責 藤江 純)



## 廃棄物処理先進事例調査

令和5年2月8日（水）14：00より本会収集運搬部会の先進事例調査として兵庫県宝塚市にある新明和工業株式会社宝塚分工場を訪問し、同社特装車事業部佐野工場（栃木県佐野市）で設計・開発された「テレスコ式リヤダンプロック（大型ダンプ用自重計機能付き積載量計を含む。）」について説明を受け、また実地運転の模様を見学してきました。



### 第37回 新明和工業株式会社 宝塚分工場

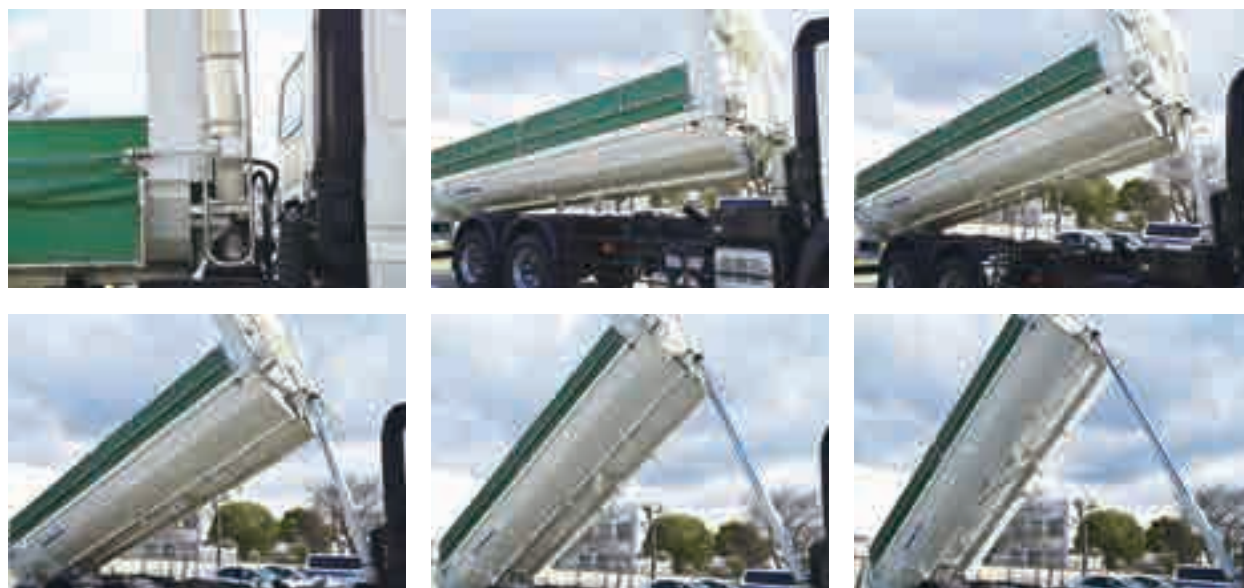
#### ■ 概 要

商 号：新明和工業株式会社  
設 立：1949年11月5日  
代 表 者：取締役社長 五十川 龍之  
本 社：兵庫県宝塚市新明和町1番1号  
資 本 金：159億8,196万7,991円（2022年3月末現在）  
従 業 員：連結5,934名 単体3,017名（2022年9月末現在）  
事 業：①特装車事業  
②パーキングシステム事業  
③産機・環境システム事業  
④流体事業  
⑤航空機事業

## ■ テレスコ式リヤダンプトラック

多種多様な産業廃棄物の適正処理において、現場の最前線に欠かせないのが「収集運搬」というプロセスである。その過程で、現在、業界に強く求められているのは、ドライバー不足等を背景とした運搬効率の向上にある。

同社が設計・開発したテレスコ式リヤダンプトラックは、全段メッキ付き（ロッドの錆を防止するための措置）のテレスコピックシリンダが採用されたダンプ機構と耐摩耗鋼板を用い、荷落ち・強度・デザイン性をベストマッチさせたハーフパイプの最適形状ボデー（特許第7021865号）の採用により、これまでの技術で高水準の軽量化が図られてきたものに、さらなる架装物の軽量化（約600キログラム）を実現させ、従来のリンク式ダンプ機構では確保が困難とされる11.2トン（荷台容積約7.3立方メートル）まで最大積載量を増やし、運搬効率の向上に資する土砂等の一層の大量輸送を可能にしている。



4段伸縮テレスコピックシリンダ新明和KC126-4によるダンプアップの様子（ダンプ角度約50度）

その他の特徴を次に示す。

### ①ボデー構造の最適化による低床化

ハーフパイプ形状ボデーの採用により、架装物の軽量化だけでなく、低床化（従来比200ミリメートル）も実現させ、走行中の高い安定性が確保されている。

### ②飛散防止用天蓋開閉装置「ブルーウイング」

高い耐久性と性能を発揮する。またコントローラはコンパクトに設計されており、各シャシメーカーのダッシュボード（DINサイズ）への設置が可能となっている。



天蓋展開時の低床化ボデー



天蓋閉鎖時の様子と運転席に設置されたコントローラ

### ③安心・安全の充実した装備

安全棒やダンプレバーロックを標準装備し、積載量計\*はオプションで装備できる。



安全棒（単車用）



ダンプレバーロック



積載量計（外部表示器）

#### ※積載量計（積載量の見える化）

運転室の内部と外部に表示器を設置することにより、トラックのドライバーと作業機械のオペレーターの双方でリアルタイムに積載量を確認することができ、運搬効率の向上が図られている。



課長代理の西村様・佐野工場設計部開発グループの松野様より垣中部会長ほか部会員に向けた説明

外部表示器は、文字高100ミリメートルの緑色LEDが採用されており、昼でも夜でも良好な視認性で積載量が表示される。アスファルトの剥離作業現場や台貫のない現場等で荷台を若干ダンプアップし計量姿勢を確保してから積込みを始めることで、ホイストシリンダに掛かる圧力が高精度に検知され、積載量に換算（誤差±5%以内）表示される仕組みである。ただし、自重計の技術基準に適合させるため、1年ごとに計量法上の修理事業者等の行う点検等を受ける必要がある。なお、積載量のほか、ダンプ角度や横転注意<sup>(注)</sup>等多彩な表示が可能となっている。

（注）一般的に、不整地・軟弱な地盤・傾斜地でダンプアップすると、横転のリスクが高まります。

## ■ まとめ

ドライバーや現場作業員等を中心とする人手不足が叫ばれる中、働き方改革による「2024年問題」等も相まって、今後、適正かつ安定的に産業廃棄物の収集運搬を行っていくことは困難になってきます。多様な柔軟な雇用により、この課題を克服していくことは勿論必要ですが、一方で広範多岐にわたる果敢な技術開発により運搬効率の向上に努めていくこともまた、極めて重要です。新明和工業株式会社特装車事業部佐野工場で設計・開発された「テレスコ式リヤダンプトラック」は、こうした取組みの一例と言えます。「約600キログラム程度の軽量化で運搬効率の向上とはいき過ぎではないか？」と感じられるかもしれませんが、その運搬が社会全体で何回も何台分も行われることによる累計は、決して持続可能な社会の形成において無視・軽視することのできないものとなる点を強く意識しておかなければならないように思いました。





テレスコ式リヤダンプトラックをバックに全員で記念撮影

基本仕様		GVW22tの車種	
車体形式		DA12-0501	
種類		普通車種・普通	
荷台形式		プロテクター付 ハーフパイプ式	
荷台寸法	長さ	約 2,200mm	
	幅	約 2,200mm	
	高さ	約 640mm	
荷台容量		約 2.3t	
最大積載量		約 11,200kg	
ダンプ機構	右側	上向き時	約 30秒
		下向き時	約 40秒以下
	左側	上向き時	約 50秒
		下向き時	約 30秒
荷台容量		4段階テレスコピック式	
コントロール装置		デジタル計測計付	
エントリー・出庫装置		デジタル計測計付	
その他		デジタル計測計付	

今回見学したタイプの主要諸元

最後に、訪問にあたり、大変お忙しい中、長時間にわたり誠実にご対応、ご説明くださった特装車事業部営業本部関西支店長兼特販グループ長の市村利文様、課長代理の西村拓也様、ディーラーグループの西出裕様、西藤優希様、そして佐野工場からお出ましいいただいた設計部開発グループの松野剣心様に心からお礼申し上げます。

(文責 龍野 浩一)

## 今後のスケジュール

年 月 日	行 事	場 所
令和 5 年 3 月 27 日	日本産業廃棄物処理振興センター (JWセンター) 講習会受付開始	<a href="https://www.jwnet.or.jp">https://www.jwnet.or.jp</a>  ※受講申込はインターネットのみ
令和 5 年 4 月 6 日	OSK-Sine (電子契約エントラン スシステム) 導入説明会	オンライン
令和 5 年 4 月 25 日 7 月 21 日 8 月 23 日 9 月 15 日 11 月 14 日 令和 6 年 1 月 26 日 3 月 13 日	廃棄物管理士講習会	国民會館 武藤記念ホール
令和 5 年 6 月 9 日	第 11 回定時総会	スイスホテル南海大阪

状況によっては変更が生じることがあります

※日本産業廃棄物処理振興センターの講習会には、オンライン形式と対面形式の2つの開催形式があります。

### オンライン

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
Webで 申込む	会社や自宅で 講義動画を視聴して 受ける	会場で 修了試験を 受ける	試験結果を 受け取る
(3月27日～)	(4月上旬～)	(4月下旬～)	

### 対 面

STEP 1	STEP 2・3	STEP 4
Webで 申込む	会場で 講義を受け、講義後に修了試験を 受ける	試験結果を 受け取る
(3月27日～)	(8月～)	

- ・オンライン形式講習会の試験は4月下旬から順次開始、対面形式講習会は8月から開始します。  
(どちらも申込受付は3月27日に開始します。)

PR

N-EXPO / GWPE

環境ビジネスの展開

第32回開催

## 2023 NEW 環境展

The 32nd New Environmental Exposition 2023

CO<sub>2</sub>削減と新エネ・省エネビジネスの推進

第15回開催

## 2023 地球温暖化防止展

The 15th Global Warming Prevention Exhibition 2023

2023 5.24 Wed. ▶ 26 Fri. 東京ビッグサイト Tokyo Big Sight

with SDGs

アジア最大級の環境展

“しかと”環境問題を  
考えようね!eco た3うくん  
NEW環境展 公式キャラクター

## NEW環境展 展示内容

廃棄物処理・再資源化・解体 / アスベスト対策 / 水処理・水質浄化 / 土壌・大気汚染防止 / 作業環境改善・感染防止対策  
 バイオマス・有機性廃棄物処理 / 環境ソフト・測定・分析・スケール・ITソリューション / 収集・運搬・搬送・保管・物流  
 サーマル・ごみ発電・熱利用 / 自治体・機構・財団 / 環境インフラ・土木建設 / 災害対策 / 関係団体・学術機関  
 海洋プラ・廃プラ対策 / バイオプラスチック / 包装・エコ製品 / 環境対応素材 / SDGs 関連

## 地球温暖化防止展 展示内容

地球温暖化対策・CO<sub>2</sub>削減 / 新エネ・再エネ推進 / 節電・省エネ対策 / 猛暑対策 / SDGs 関連

5 月に東京ビッグサイトで開催!! <https://www.n-expo.jp>

主催 ▶ 日報ビジネス株式会社

お問合せ

TEL: (東京) 03-3262-3562 (大阪) 06-6265-9106  
 e-mail: event@nippo.co.jp



## 会員メリットのご紹介

廃棄物処理に関する個別相談を優先的に承っております。ご来所の場合はあらかじめ予約していただくとスムーズです。お電話でも相談に応じておりますのでお気軽にどうぞ。

会員は、公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者が必ず受けなければならない経営事項審査（経審）の加点（20点）対象です。審査に必要な会員の証明書の発行を希望される方は弊社までお問合せください。

会員は廃棄物管理士講習会の受講料が半額になります。その他の弊社主催のセミナーやイベントも無償又は割引が適用されます。

	入会金	会 費
正 会 員	30,000円	収集運搬業 10,000円／月 中間処理業・最終処分業 15,000円／月 ※正会員は半年分ずつ前納
賛助会員	30,000円	50,000円／年 ※一年分を前納

令和4年11月15日現在で正会員269社、賛助会員58社の加入があります。弊社主催のセミナーやイベントに参加され、知識習得のみならず同業者間の繋がり作りにも役立てていただいております。

入会について詳しくお知りになりたい方は弊社までお問合せください。

**電話 06-6943-4016**

## PR

導入企業数

800 社以上



×



- 産廃業界のDXを推進！ -

産廃業者専用クラウドシステム  
CLOUDUS（クラウドス）

カンタン操作で

管理コストを

50%削減！

マウスひとつでらくらく配車！



まるごと

会員様 限定特典！/  
導入サポート“導入したのに  
使えない！”  
を防ぎます！

- ・ 初期設定（利用機能に必要な情報全て）
- ・ データ移行（既存データがある場合）
- ・ 関係者への説明会

- ・ 利用率向上のサポート
- ・ 専用マニュアル
- ・ 困ったときの電話サポート

30万円

無料に

経営者・経営層の皆さま、御社にこんな課題はありませんか？

- ✓ 受発注では社内外で言った・言わないのトラブルが発生！
- ✓ 営業マンや事務員は忙しい割に売上が上がらない！
- ✓ 回収ルートが非効率でムダが発生！
- ✓ 配車管理も現場情報もベテランドライバー頼りになっている！
- ✓ 営業マンが案件を取りこぼしている！いつの間にか他社に取られてた！

クラウドス

こんなお悩みを CLOUDUS が解決！その 秘密 は裏面へ



## 受発注をカンタン管理

事務員の電話拘束時間を1/3に！

履歴が残るから  
「言った・言わない」の  
トラブルなし！電話・FAX・メールの  
バラバラ管理による  
手間が大幅削減！回収量の減少を自動で察知  
顧客の状況をキャッチ！

## 配車をカンタン管理

月2件以上はあった回収漏れがゼロに！

スマホでリアルタイムに  
スケジュールを確認フォーマットを使って  
簡単＆確実に登録スケジュール全体の把握も  
車両の稼働状況も簡単確認

## 営業活動をカンタン管理

営業マンの案件の取りこぼしをゼロに！

営業責任者が、いつでも  
どこからでも進捗を確認メモやExcelは不要！  
脱・属人的管理で  
抜け漏れや対応遅れを防止ルールが統一されて  
管理も確認もノー・ストレス

大阪府産業資源循環協会とイーテラスは、パートナーシップ契約を締結しました

社会や産業の構造が大きく変わろうとしている中、公益社団法人大阪府産業資源循環協会では、これまで以上に廃棄物の適正処理と資源循環の安定確保を図るため、デジタル技術等の活用を推進しています。

その一環として、当協会はイーテラス株式会社とパートナーシップ契約を締結し、同社が運営する「クラウドス」の普及に協力しています。



▼クラウドスに関する資料請求などのお申し込みは、下記の項目をご記入のうえ、FAXにてご返信下さい。

貴社名			
お名前		TEL	
〒			
ご希望の項目にチェックをお入れ下さい。			
<input type="checkbox"/> 資料請求 <input type="checkbox"/> 電話で詳しく聞きたい <input type="checkbox"/> その他 (                      )			
特約店	公益社団法人 大阪府産業資源循環協会		



FAX返信

06-6942-5314

(公社) 大阪府産業資源循環協会 DX推進共同事業者



イーテラス株式会社 | 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟9階  
【TEL】0120-506-381 【メール】ariake@e-terras.co.jp

Member

会員紹介

Information

## ヒラオカ石油株式会社

## C O M P A N Y P R O F I L E



西口 貴志

取締役・営業本部長

インタビュー

代表取締役社長 高松 克行  
 本社・西日本支社 大阪府岸和田市地蔵浜町11-1  
 新横浜オフィス 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15  
 和泉府中オフィス 大阪府和泉市府中町1-1-6  
 営業所 全国に14カ所  
 事業内容 燃料配達事業  
 燃料代行配達事業  
 石油卸売事業  
 緊急時給油事業  
 再生可能エネルギー事業  
 アドブルー販売事業  
 潤滑油販売事業  
 ガソリンスタンド事業

U R L  
S N S<https://hiraokasekiyu.com/>

Twitter



note



## 沿革

昭和35年 平岡商店設立  
 昭和62年 有限会社ヒラオカ商事に社名変更  
 平成10年 ヒラオカ石油株式会社に社名変更  
 平成26年 基幹システム導入  
 平成27年 軽油引取税特別徴収義務者に指定  
 平成28年 岸和田市と「災害時等における燃料供給等に関する協定」を締結  
 大阪府と「災害時等における燃料供給等に関する協定」を締結  
 狭山市と「災害時における燃料の供給に関する協定」を締結  
 令和4年 株式会社宇佐美鉱油の完全子会社（100%）になる  
 高松克行が代表取締役社長に就任

## INTERVIEW

## 燃料配送で産業を支えるインフラ企業

——御社の概要をお聞かせください。

西口：当社は1960年創業の燃料配送業者です。工事現場や施設などの機械・装置への燃料配達・供給をはじめ、燃料の貯蔵、重機の排ガス浄化に使われるアドブルーの製造・販売、再生可能エネルギー事業などを展開し、関西・関東・中部エリアで事業を拡大してきました。昨年4月には宇佐美鉱油グループに加わり、宇佐美配送事業グループのメンバーとして事業を展開しています。

グループ全体での燃料販売量は備蓄も含めて年間700万kℓ、全国シェアは軽油で14%、ガソリンで4%を占めます。うち、配送事業グループは当社と三和エナジー(株)、(株)大同井本エナジー、(株)大塚油司、(有)ゴンス、アサヒエナジー(株)の6社で構成しており、販売量は年間38万kℓ、備蓄量2万kℓを扱っています。輸送手段として中型ローリー車490台、大型ローリー車30台の計520台を、給油所などの拠点は計49カ所を保有。これらを活用して、主にパトロール給油事業を展開しているところです。現場の皆さんはご存知かと思いますが、パトロール給油とは、一定の地域にある工事現場や工場などの施設にローリー車で巡回して、重機や発電機などの装置に軽油などを直接供給するものです。

——まさに産業の基盤をエネルギーの面から支えているのですね。

西口：パトロール給油としては、国内最大の規模になります。さらに現在は、この充実した配送体制を活用して、顧客の事業継続計画（BCP）に貢献する事業へとつなげています。24時間対応の緊急配送体制を確立するとともに、2万kℓの備蓄油を常時確保しておくことで、災害時など緊急かつ燃料の確保が困難な状況でも顧客の発電設備などへ燃料供給を可能するビジネスモデル「大規模災害時エネルギーサポート（EES）事業」を展開しています。いわば“燃料の保険”として電力会社やデータセンター、病院などから引き合いがあり、特に東日本大震災以降は高い関心をいただくようになりました。

大規模災害が起きて系統電力の供給がなくなったとき、各施設ではBCPに従って非常用発電設備を稼働させます。多くの場合、計画では長期停電に備えて1週間以上の燃料確保を想定していますが、保管スペースの関係などから通常は1～2日間の燃料備蓄しかないのが現実です。そこへ、不足する発電用燃料を確保するとともに、輸送用のローリー車をセットで保証するのがEES事業です。



本社にある業界最大級の出荷設備



## INTERVIEW

## BCPやカーボンニュートラルなど最新の課題にも

——燃料だけでなく輸送手段も、というスキームの狙いは？

西口：実は、この輸送手段を同時に保証する、という部分が大切なんです。国内にある非常用発電設備の6割程度がA重油を燃料としていますが、そのA重油を運べるローリー車は国内全体の16%程度に過ぎません。この不均衡によって、燃料はあるのに運べない、という状況が起こってしまうんです。実際に、東日本大震災の際には全国から被災地に輸送車両が集まったために、他の地域の供給力が極端に低下する事態となりました。こうした状況を踏まえ、輸送手段の確保も付加したビジネスモデルとしているのです。

東日本大震災以降ですと、例えば熊本地震の際にはグループの三和エナジーが24時間体制で1カ月にわたって被災地支援を行いましたし、北海道胆振東部地震の際にも活動し、電力供給のお手伝いをしました。また、令和元年台風15・19号による風水害でも出動しています。パトロール給油とEES事業、このふたつがグループの大きな軸ですね。

また、災害関連の新しい事業としては、燃料タンクのA重油を循環ろ過する「ロカクリーン」サービスも展開しています。緊急用のA重油は一度入れると10年以上交換しないことも多く、いざ使おうとした時に雨水などの混入で、発電設備がうまく稼働しないことがあります。それを防ぐため、入れ替えることなく循環ろ過することで重油を綺麗な状態に戻すサービスですね。そのほか、緊急時の給水サービスや、防災型の燃料タンクである「コンボルトタンク」の石油業種総代理店として販売も手掛けています。船舶施設などで導入いただいています。幅広く顧客の事業継続性に貢献していきたいですね。

——災害関連以外で拡大中のビジネス分野は？

西口：これはカーボンニュートラル分野ですね。顧客の中でも建設分野では、2050カーボンニュートラルの達成に向けて、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を50%削減するという目標を立てています。そこへの貢献は深めるべく、バイオ燃料事業を本格化させようと。

そのために、グループでは埼玉県狭山市にバイオディーゼル燃料（BDF）製造プラントを整備中です。廃食用油のBDF化と、B5燃料（軽油に5%未満のBDFを混合した燃料）製造を備えた施設となっていて、この6月から稼働予定となっています。ゆくゆくは、2025年の大阪関西万博へのB5燃料供給も予定しています。

実際問題として、建設現場で動かす重機や装置の脱炭素化を考えたとき、B5燃料を利用する以外の方法はないのが現状です。もちろん、技術革新の早い分野ですから、まずはB5燃料からカーボンニュートラルやSDGsへの貢献を進めつつ、今後の技術動向も見していきたいですね。





## INTERVIEW

## グループの力を結集して社会へ貢献

——廃棄物業界では人材確保が課題となっていますが、御社ではいかがですか？

西口：グループ全体で見るとなかなか難しい状況で、特にドライバー不足は共通の課題でしょう。宇佐美物流グループではこの課題に対して、M&Aを一番の施策としております。

また、ヒラオカ石油としては毎年新卒採用を行っており、今年も32人を採用しています。このあたりのノウハウをグループ6社で共有しようと、今後はグループ全体で年10人程度の新卒採用を進めていく予定です。

当社での人材確保の考え方として、地元での採用を増やしていこうという方針があって、特に本社がある岸和田エリアは成功していますね。若い世代の採用が増えるとともに、そこからの紹介で転職希望者をキャッチできています。燃料配送業界も高齢化が進んでいますが、当社ドライバーの平均年齢は30代ですから、若い人が若い人を呼ぶ好循環ができています。

また、昨年にはドライバーコンテストを開催しました。客先での接客や給油作業の技能や安全確認などの試技を行って採点するもので、ドライバーの誇りやモチベーション、技術を向上させる狙いがあります。やはり、事業の中心を担うのは車両に乗って燃料を供給し、顧客との窓口となるドライバーですから、会社としても彼らにフォーカスしたいという思いがあります。



——今後の抱負をお願いします。

西口：やはり、顧客の環境商材への関心は高いものがあります。まずはB5燃料から始めますが、新しい商材にも対応しながら社会の脱炭素、SDGsの取組に貢献していきます。そして、グループ6社のインフラを結集して、皆さんの力になっていければ幸いです。

——本日はありがとうございました。

**書籍  
紹介**

# 不動産取引・M&Aをめぐる 環境汚染・廃棄物リスクと法務

著者：弁護士 猿倉 健司 著

出版社：(株)清文社

定価：4,950円（税込）（本体：4,500円、消費税450円）

発行日：2021年8月10日



## 概要：

企業における環境リスク対応の決定版！

環境汚染・廃棄物に関する規制を横断的に整理し、近時の紛争実例を数多く紹介。実務上みられる契約条項やリスクを回避するためのデューディリジェンス、行政対応等の問題点を取り上げ、実践的な対応策・契約条項例を具体的に解説。

民法改正に伴う契約条項の見直しや自然災害・新型感染症拡大に起因した取引上の問題点、役員の実務責任、再発防止措置等にも言及。

## BACK

## バックナンバーのご案内

## NUMBER

## 弊会HPで全号公開中

## クリーンライフ

第80号（令和2年3月25日発行） ●4月1日施行 改正フロン排出・抑制法

第81号（令和2年9月25日発行）

- さんばいフォーラム ―私たちが残したものの“2R”― 終了報告
- 産業廃棄物処理委託契約書の電子化サービスに関する意識調査 アンケート結果

第82号（令和3年3月25日発行）

- バーゼル条約に基づくプラスチックの輸出規制について
- 改正大気汚染防止法の一部施行（令和3年4月1日）について

第83号（令和3年6月28日発行）

- 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた産業廃棄物処理業者が活用できる支援策
- 太陽電池モジュールの適正なりユース促進ガイドライン

第84号（令和3年9月27日発行）

- 廃棄物処理の脱炭素化

第85号（令和3年12月22日発行）

- 新たなアスベストの飛散防止対策 ― 関連規制の改正 ―

第86号（令和4年3月28日発行）

- さんばいフォーラム ―2050年C Nに向けた脱炭素と資源循環― 終了報告
- プラスチック資源循環促進法の施行に向けて

第87号（令和4年7月28日発行）

- ①廃棄物熱回収施設設置者認定マニュアルの改訂について
- ②「バイオマス発電燃料等に関する廃棄物該当性の判断事例集」の更新について
- ③リチウム蓄電池等処理困難物対策集の公表等について
- ④感染性廃棄物処理マニュアルの改定について

第88号（令和4年11月28日発行）

- ①プラスチック資源循環促進法の施行について
- ②サル痘患者の発生を受けた感染性廃棄物の取扱いについて
- ③PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理について
- ④産業廃棄物処理業者を対象とした令和4年度政府支援策について

普及促進シリーズ  
廃棄物法制等

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.4

第2版 2014年12月1日発行

- 産業廃棄物処理業におけるヒヤリ・ハットの事例分析

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.5

第3版 2019年3月1日発行

- 廃棄物収集作業

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.10

第2版 2019年11月1日発行

- 産業廃棄物処理業に関するBCP策定ガイドライン

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.12

2017年12月1日発行

- 廃棄物処理先進事例調査報告書



公益社団法人  
大阪府産業資源循環協会の

分かりやすくして  
コンパクト

必携の  
一冊

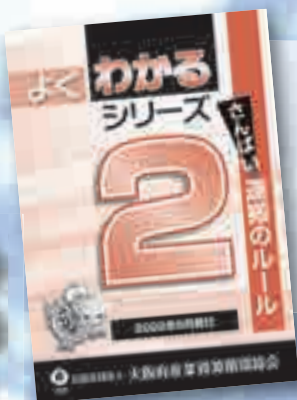
## よくわかるシリーズ1

産業廃棄物の処理の委託をするときに不可欠なマニフェストのしくみを分かりやすく解説！本冊子ではマニフェストの書き方や各伝票の運用方法を記載例、フロー図などを駆使しながら説明しています。巻末にはマニフェストについてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の処理を委託する方、される方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ2

産業廃棄物を運搬するときに、守らなければならない処理基準を中心に解説！収集運搬車両の表示板、積替保管する場合の基準、施設（車両）の使用権限から大阪府流入車規制など、収集運搬において必要となる事柄をコンパクトに説明しています。巻末には収集運搬についてよく質問される事柄をQ & A方式で掲載！産業廃棄物の収集運搬をされている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ3

許可の有効期限の延長など、産廃処理業者にとって数々のメリットがある優良産廃処理業者認定制度を分かりやすく解説！優良認定を受けるための5つの基準を説明するだけでなく、過不足なく申請事務を行えるよう、チェックリストも収録しています。巻末には優良産廃処理業者認定制度についてよく質問される事項をQ&A方式で掲載！優良産廃処理業者の認定を目指されている方には必携の一冊です。



## よくわかるシリーズ4

これは産業廃棄物か一般廃棄物か？産業廃棄物の中のどの種類になるのか？など、廃棄物の適正処理の基本となる考え方や判断基準を中心に解説！廃棄物の取扱説明書として必携の一冊です。ふだんゴミ出しでお困りの一般の方々も、ぜひお読みください。



## よくわかるシリーズ5

他業種にくらべ圧倒的に労働災害が多い廃棄物処理業では、廃棄物の適正な処理だけでなく、安全な処理も求められます。本書は産業廃棄物の処理における労働災害の未然防止徹底を目的に作成した一冊です。「労災ゼロ」を目指して、ぜひご活用ください。





## 編集後記

先日、息子が高校を卒業しました。

コロナで青春を謳歌した！という感覚はないらしく、ずっとマスク生活で顔をちゃんと知らないお友達も沢山いると。そして18才で成人。

少しづつ、元の生活に戻りつつある中、我々大人は「元の生活感」に喜びを感じたりしてますが、息子たちの世代のその感覚は同じなのか、どんなコミュニケーションを喜びに感じるのか、どんな大人になっていくのか。新しいギャブが生まれているのだろう。卒業式の最中そんな事を考えておりました。

話は反れますが、私は「素質適応理論（帝王学）」というものを学んでいてその中には易学的なものもあります。今年は「癸卯（みずのとウ）」過去の歴史のこの年も動乱の年であったようです。現に、海外での戦争・大地震……。『破壊と進化』『終わり、始まる』年ようです。善き方・悪き方、どちらに転ぶか分からない。氣をつけて進まねばならない。

#知らんけど(笑)

不安要素の多い市況ではありますが、このタイミングでコロナの響きも小さくなり、これを終わりというならば、何が始まるのだろう、どんな「元の生活」やビジネスになるのだろう。不安に思うより、圧倒的期待と危機感で進んで参りましょうね。

そんな訳で圧倒的期待を寄せて、今日から始まるWBC🇯🇵日本頑張れ～！

令和5年3月9日

きたもと かおり

### 新「メール会員サービス」のご案内

本会のイベントやセミナーを中心に厳選した情報を随時お伝えするメルマガを新たに発行いたします。会員・非会員問わず無料でご利用いただけますので、配信ご希望の方は以下の要領でお申込みください。

なお、正会員・賛助会員限定メルマガ「**れん楽網 Clean Life オンライン**」はこの新サービスとは別で引き続きご利用いただけます。

申込先アドレス **news@o-sanpai.or.jp**

件名 メール会員サービスの申し込み

本文 ① 氏名 ② 所属企業・団体名 ③ メールアドレス ④ 電話番号

## Clean Life vol.89

編集 公益社団法人 大阪府産業資源循環協会  
組織広報委員会

委員長	高 好 健 二	委員	北 本 かおり
副委員長	田 中 公 治	委員	渋谷 和 義
副委員長	片 渕 則 人	委員	高 田 実佐大
委員	伊地知 宏 徳	委員	平 尾 道 哉
委員	伊 山 雄 太	委員	福 田 勝
委員	尾 崎 正 孝	委員	山 口 玉 緒
委員	河 野 登志夫	事務局	福 原 睦 美

# 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の許可申請に関する講習会（新規・更新） 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

## 2023年度 オンライン講習会試験日・対面講習会開催日 近畿地区日程表

		新規				更新		特別管理産業廃棄物 管理責任者
		産業廃棄物 収集運搬課程	産業廃棄物 処分課程（※1）	特別管理産業廃棄物 収集運搬課程	特別管理産業廃棄物 処分課程（※2）	収集運搬課程	処分課程（※3）	
受講料	オンライン 対面	¥25,300	¥39,600	¥37,400	¥56,100	¥16,500	¥20,900	¥13,200
		¥29,700	¥48,400	¥46,200	—	¥19,800	¥24,200	¥13,750
2023年 4月						兵庫会場： 27日(午前・午後) 28日(午前)		兵庫会場： 28日(午後)
5月		大阪会場： 17日(午後)18日(午前) 兵庫会場： 31日(午前)				大阪会場： 16日(午後)18日(午後) 兵庫会場： 30日(午前)31日(午後)		大阪会場： 16日(午前)17日(午前) 兵庫会場： 30日(午後)
6月		京都会場： 7日(午前) 奈良会場： 22日(午前)	大阪会場： 14日(午後)			京都会場： 7日(午後)8日(午前) 奈良会場： 22日(午後)23日(午後)	大阪会場： 15日(午前)	京都会場： 8日(午後) 大阪会場： 14日(午前)15日(午後) 奈良会場： 23日(午前)
7月		大阪会場： 5日(午前) 兵庫会場： 20日(午後)	兵庫会場： 20日(午前)	京都会場： 11日(午前)		大阪会場： 5日(午後)6日(午後) 京都会場： 11日(午後) 兵庫会場： 19日(午前)		大阪会場： 6日(午前) 兵庫会場： 19日(午後)
8月		和歌山会場： 1日(午前) 大阪会場： 9日(午前) 滋賀会場： 23日(午前)				和歌山会場： 1日(午後)2日(午前) 大阪会場： 8日(午後)9日(午後) 滋賀会場： 23日(午後)24日(午前) 兵庫会場： 24日(対面)		和歌山会場： 2日(午後) 大阪会場： 8日(午前) 滋賀会場： 24日(午後) 兵庫会場： 25日(対面)
9月		兵庫会場： 12日～13日(対面) 京都会場： 21日(午前)				京都会場： 21日(午後)22日(午後)	京都会場： 22日(午前)	
10月		大阪会場： 11日(午後) 兵庫会場： 19日(午後) 滋賀会場： 25日(午後)	大阪会場： 12日(午前)	大阪会場： 10月31日～ 11月2日 (対面)		大阪会場： 3日(対面) 11日(午前)12日(午後) 兵庫会場： 20日(午前)	滋賀会場： 26日(午前)	大阪会場： 4日(対面) 兵庫会場： 19日(午前)20日(午後) 滋賀会場： 25日(午前)
11月		京都会場： 15日(午前) 奈良会場： 22日(午前) 大阪会場： 28日(午後)	兵庫会場： 7日～ 10日(対面)			京都会場： 14日(午前)15日(午後) 奈良会場： 22日(午後) 大阪会場： 29日(午後)		京都会場： 14日(午後) 大阪会場： 28日(午前)29日(午前)
12月		大阪会場： 19日(午前)20日(午前)				大阪会場： 20日(午後)	兵庫会場： 5日～ 6日(対面)	大阪会場： 19日(午後)
2024年 1月		兵庫会場： 17日(午前)18日(午後) 大阪会場： 24日(午前)				大阪会場： 10日(午前)11日(午前) 兵庫会場： 16日(午前)17日(午後) 滋賀会場： 24日(午前)	大阪会場： 23日(午後)	大阪会場： 10日(午後)11日(午後) 兵庫会場： 16日(午後)18日(午前) 滋賀会場： 24日(午後) 大阪 23日(午前)24日(午後)
2月		和歌山会場： 6日(午前) 大阪会場： 8日～9日(対面) 兵庫会場： 9日(午前) 京都会場： 20日(午後)	京都会場： 21日(午前)			和歌山会場： 6日(午後)7日(午前) 兵庫会場： 7日(午後)8日(午前) 9日(午後) 京都会場： 21日(午後) 大阪会場： 27日(対面)	兵庫会場： 7日(午前)	兵庫会場： 8日(午後) 京都会場： 20日(午前) 大阪会場： 28日(対面)
3月		大阪会場： 6日(午前)		大阪会場： 5日(午後)	大阪会場： 7日(午前)	大阪会場： 7日(午後)		大阪会場： 5日(午前)6日(午後)

(※1) 新規産業廃棄物処分に追加して、新規産業廃棄物収集運搬を受験することができます。

(※2) 新規特別管理産業廃棄物処分に追加して、新規特別管理産業廃棄物収集運搬を受験することができます。

(※3) 更新処分に追加して、更新収集運搬を受験することができます。

(午前)・(午後)：会社やご自宅から、事前にオンラインで「講義」の動画を視聴し、「修了試験」は上記日程表に記載した試験会場に会場に来て受検する2段階形式の講習会です。

(対面)：上記日程表に記載した会場で、「講義」と「修了試験」を受ける対面形式の講習会です。

講習会の申込はインターネット申込みのみです。

詳細は講習会主催者のJWセンターのサイト <https://www.jwnet.or.jp> をご覧ください。

# Clean Life vol.89

クリーンライフ

第89号

第89号

発 行 責 任 者 公益社団法人  
 大阪府産業資源循環協会  
 会 長 片 渕 昭 人  
 組織広報委員長 高 好 健 二

大阪府産業資源循環協会

組織広報委員長 高 好 健 二



産業廃棄物の適正処理に関するご質問・ご相談は

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 TEL:06-6943-4016 FAX:06-6942-5314

<http://www.o-sanpai.or.jp/>

職場のみなさまで  
回覧してください

[illegible]